

今年度の認定こども園にじいろの研究の様子をお知らせします！

“やってみよう！”の気持ちが続くにじいろの生活

すてきなことみっけ！（主体性）
この2つのキーワードで紹介します

分かち合う心（対話性）

”すてきなことみっけ！”って？

まずは、やりたいこと・遊びたいことを見つけることが第一歩。“面白そう！”“真似したい！”などの気持ちから、『自分でやってみたい』の気持ちへつながります。遊びたい玩具を見つけて選ぶことも“見つけ”になります。

”分かち合う心”って？

遊びや生活の中で、“楽しい”“嬉しい”だけではなく、“うまくいなくて悔しい”“友達とけんかをして悲しい”など様々な感情や思いが生まれています。まずは保育者に気持ちを分かってもらい、安心感や満足感を味わっています。

0歳児 らっこ組



かにの砂場
乳児室を出てすぐの場所にあり、囲われた空間のため、安心して遊び出せます。



〈保育者の援助〉

遊び方が分かるように保育者がつくって見せながら、握ったりつぶしたり感触を十分に味わえるような遊びに誘いました。

〈すてきなことみっけ！〉

★始めは砂の感触に抵抗があっても、保育者と遊んでいるうちに楽しさが分かり、ダイナミックに遊ぶようになってきました。

〈分かち合う心〉

★「ドーナツだよ」と保育者が型抜きしたものを見せると手をつぶしたり、“もう1回！”と求めたり、やり取りをしながら遊びました。

2歳児 こあら組



手の届くところに絵や塗り絵を用意し、やりたいたったときにすぐに取り組めるようにしました。



〈保育者の援助〉

こあらギャラリーをつくり、自分の作品を貼ったり、鑑賞会をしたりして友達の作品を見ることで、描画や塗り絵にさらに興味をもてるようにしました。

〈すてきなことみっけ！〉

- ★塗りたい絵を見つけて、のびのびと取り組んでいます。
- ★「いろいろな色が混ざってきれい！」と色の交わりに少し気付き、自由に色を塗る姿が見られています。

〈分かち合う心〉

- ★友達同士で「上手！」「すごい」「ここも塗れるよ」など伝え合う姿があります。
- ★友達や保育者の真似をして、塗ったり描いたりしようとしています。



5歳児 らいおん組

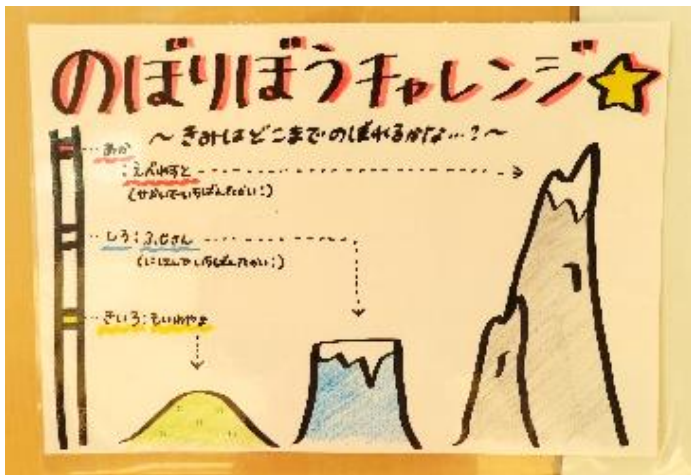
保育者の願い

体を動かす楽しさや運動遊びに挑戦する気持ち、できなかったことができるようになる喜びや達成感を味わって欲しい。

- 運動会の競技に登り棒や一人縄跳びなどの運動遊びを取り入れ、クラスで取り組んでいきました。
- 登り棒に目印を付けたり、表を活用したりし、子どもたちの頑張りが目に見て分かるようにしました。

蛍光テープを貼り、「ここまでのぼれた！」の目印にしました。





〈保育者の援助〉

- 運動会の経験が自信につながったため、運動会後も継続して登り棒や縄跳びに取り組むことができるようになってきました。5歳児の姿が刺激となり、3、4歳児へと取組の輪が広がってきています。
- 最近では興味が広がり、一人縄跳びを夢中に行っている子どもたち。回数を重ねるだけでなく、様々な技に挑戦しているため、その挑戦する気持ちを支えていきたいと考えています。



〈すてきなことみっけ!〉

- ★園庭に出ると、子どもたちから「のぼりぼうしたい!」と声が多数上がり、自分から意欲的に楽しむ姿が見られるようになりました。
- ★繰り返し取り組むことでコツをつかみ、自分の力で登る、よりスムーズに登ることができるようになり、子どもたちの自信につながりました。

〈分かち合う心〉

- ★できるようになったことが嬉しく喜びあったり、友達が頑張る姿から刺激を受け合ったりしながら遊んでいます。
- ★登ることに苦労する友達に対して、登ることができる子がコツを伝授したり、応援したりする姿も見られました。

さいごに

環境や保育者の援助を工夫していくことで、やりたいことを見つけて、自分から取り組む姿につながっています。今後も子どもたちの興味のあることを逃さず、実現できるよう関わっていきます。